

平成28年4月21日

## 第29回「京都美術文化賞」 受賞者の決定と贈呈式開催について

このたび、公益財団法人 中信美術奨励基金（理事長 布垣 豊）では、財団の顕彰事業である第29回「京都美術文化賞」の受賞者を決定しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 第29回「京都美術文化賞」受賞者・受賞理由

#### 森田 りえ子（もりた りえこ）日本画家

花や現代を生きる女性を描いた作品は大変華やかで、国内外での活躍がめざましい。

#### 松井 利夫（まつい としお）陶芸家

近年の個展が大変興味深く、社会性のある芸術活動を行っている。

#### ヤノベケンジ 現代美術作家

意欲的に幅広い活動を続けられ、非常に面白い作品を生み出している。

2. 贈呈式日時 平成28年5月30日（月）午後2時

3. 会場 ウェスティン都ホテル京都 葵殿  
京都市東山区三条けあげ TEL 075（771）7111

### 4. 京都美術文化賞について

美術の創作活動を通じて京都府市民の精神文化向上に多大の功績があった方に、「京都美術文化賞」として賞牌と賞金1人金200万円を贈呈し、創作活動を奨励しています。昭和63年5月の第1回に始まり、今回で第29回目の贈呈となりました。

#### (1) 選考委員(敬称略)

梅原 猛（哲学者）  
太田 垣 實（美術評論家）  
潮江 宏 三（京都市美術館館長）  
新宮 晋（彫刻家）  
辻 惟 雄（美術史家）  
樂吉左衛門（陶芸家）

(2) 受賞記念展の開催

平成29年1月開催予定

於:京都文化博物館

(3) 過去の受賞者 (別紙一覧参照)

・受賞者総数 87名(今回を含む)

絵画 33名 (日本画17名 洋画10名 版画6名)

彫刻 12名

工芸 32名 (染色11名 陶芸15名 漆芸3名 截金1名 人形1名  
ガラス造形1名)

その他 10名 (写真2名 ファイバーアート4名 マルチメディアアート1名  
現代美術2名 花人1名)

・受賞後の活躍

第1回受賞の秋野 不矩氏は平成11年度文化勲章受章

第7回受賞の黒崎 彰氏は平成20年瑞宝中綬章受章

第9回受賞の岩倉 寿氏は平成18年芸術院会員に選出

第9回受賞の木村 光佑氏は平成24年瑞宝中綬章受章

第13回受賞の江里 佐代子氏は平成14年史上最年少で人間国宝に認定

第19回受賞の宮瀬 富之氏は平成21年日本芸術院賞を受賞

第24回受賞の森村 泰昌氏は平成23年紫綬褒章受章

など、受賞後の活躍はめざましいものがある。

(4) 「京都美術文化賞」の意義

伝統ある京都の芸術を発展させ、京都からすばらしい芸術家を誕生させる刺激になっています。美術関係者からは、この賞の足跡について「京都の優れた芸術が集まり、京都の美術界の流れをあらわしていて意義深い」と評価いただいています。

## 5. 公益財団法人 中信美術奨励基金について

京都中央信用金庫の預金量一兆円達成(昭和61年11月)を記念して、昭和62年4月1日に設立しました。京都府下における美術の創作活動を奨励し、伝統的文化の継承発展並びに京都府市民の精神文化向上に寄与することを目的としています。平成23年4月1日より公益財団法人に移行しました。

以 上

☆本件に関するお問い合わせは、京都中央信用金庫 広報部

(TEL075-223-8385 FAX075-223-2563) までお願い申し上げます。

## 第29回京都美術文化賞受賞者略歴（敬称略）

### 森田 りえ子（もりた りえこ） 日本画家

1980年京都市立芸術大学日本画専攻科（現大学院）修了。華やかな画風で現代の女性像や花鳥画を描き、注目を集めている。'07年金閣寺方丈杉戸絵及び客殿天井画制作、'09年京都真澄寺別院流響院襖絵制作など、寺社を舞台とした制作にも取り組んでいる。また、パリやオマーンで個展を開催するなど、国内外で精力的に活動の場を広げている。京都市立芸術大学客員教授。

展覧会：'09年「東方彩夢 森田りえ子展」（パリ三越エトワール/フランス）、'12年日本・オマーン国交樹立40周年記念「森田りえ子 日本画展」（マスカット/オマーン）、'14年「森田りえ子 花らんまん展」（香雪美術館/兵庫）、「きよけく 森田りえ子展」（一宮市三岸節子記念美術館/愛知）、'15年「森田りえ子展 KAWA I I・G I T A I」（日本橋三越本店/東京）、'16年「金閣寺方丈杉戸絵奉納10周年記念 いのち賛歌 森田りえ子展」（相国寺承天閣美術館/京都）など多数。

受賞：'86年第1回川端龍子大賞展大賞、'90年第1回菅楯彦大賞展準大賞、'92年京都府文化賞奨励賞、'00年京都市芸術新人賞、'11年京都府文化賞功労賞、'12年京都府あけぼの賞など。

代表作：「白日」（'86年）、「粧」（'02年）、「金閣寺方丈杉戸絵」（'07年）など。

### 松井 利夫（まつい としお） 陶芸家 61歳

1955年大阪府生まれ。'80年京都市立芸術大学陶磁器専攻科修了後、イタリア政府給費留学生として国立ファエンツァ陶芸高等教育研究所に留学。エトルリアのブッケロの研究を行う。帰国後、沖縄のパナリ焼、西アフリカの土器、縄文期の陶胎漆器の研究や再現を通して芸術の起源の研究を行う。近年は'16年に京都で開催される世界考古学会議WAC-8に向けてArt&Archaeology Forumを立ち上げ芸術と考古学の領域融合の研究を重ねる。京都造形芸術大学教授、国際陶芸アカデミー会員。

展覧会：'84年第17回ミラノ・トリエンナーレ招待（イタリア）、'90年「土の造形展」（栃木県立美術館）、'93年「現代器考」（埼玉県立美術館）、'05年第3回京畿道世界陶芸ビエンナーレ招待（利川/韓国）、'10年「日本現代陶芸の領域」（Espace Culturel Bertin Poiree/フランス）、'13年「サイネンショー」（VOICE GALLERY/京都）など多数。

受賞：'82年第40回ファエンツァ国際陶芸コンクールグランプリ（イタリア）、第1回ALCOAコンクール2位（イタリア）、'15年第14回カルージュ国際陶芸ビエンナーレARIANA大賞（スイス）など。

代表作：「Isola」（'86年）、「Einstein in the cage」（'11年）、「二本松」（'15年）など。

### ヤノベケンジ 現代美術作家 50歳

1965年大阪府生まれ。'91年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。'90年初頭より「サヴァイヴァル」をテーマに大型機械彫刻を制作。'97年にチェルノブイリを訪問する「アトムスーツ・プロジェクト」を行い、'01年以降は「リヴァイヴァル」をテーマに制作活動を続ける。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品は国内外で評価が高い。'11年には震災復興を掲げるモニュメント《サン・チャイルド》を制作、世界各地で巡回。イッセイ三宅、ビートたけし、吉本新喜劇とのコラボレーションなど領域横断的な創作活動を続けている。京都造形芸術大学教授。

展覧会：'09年「水都大阪2009：とらやんの大冒険」（大阪市内各所）、'13年「あいちトリエンナーレ2013」（愛知県美術館 他）、「瀬戸内国際芸術祭2013」（小豆島/香川 他）、'15年琳派400年記念「パンテオン」展（京都府立植物園）など多数。  
'16年7月より高松市美術館で個展を開催。

受賞：'99年京都市芸術新人賞、咲くやこの花賞、'09年大阪文化賞、'11年第21回公益信託タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞、'12年京都府文化賞功労賞など。

代表作：「タンキングマシーン」（'90年 金沢21世紀美術館蔵）、「アトムスーツ」（'97年 広島市現代美術館蔵）、「サン・チャイルド」（'11年 茨木市・大阪蔵）、「サン・シスター」（'15年 兵庫県蔵）など。

## 京都美術文化賞 受賞者（敬称略）

- 第1回(昭和63年5月) ※秋野不矩(日本画) ※小牧源太郎(洋画) 坪井明日香(陶芸)  
第2回(平成元年5月) ※麻田 浩(洋画) 小清水 漸(彫刻) ※伊砂利彦(染色)  
第3回(平成2年5月) ※中野弘彦(日本画) ※三尾公三(洋画) ※藤平 伸(陶芸)  
第4回(平成3年5月) 竹内浩一(日本画) 井田 彪(彫刻) 樂 吉左衛門(陶芸)  
第5回(平成4年5月) ※吉原英雄(版画) ※野崎一良(彫刻) ※南 祥輝(漆芸)  
第6回(平成5年5月) 中野嘉之(日本画) 内田晴之(彫刻) 面屋庄甫(人形)  
第7回(平成6年5月) 黒崎 彰(版画) ※鈴木 治(陶芸) ※来野月乙(染色)  
第8回(平成7年5月) ※下村良之介(日本画) 番浦有爾(彫刻) 深見陶冶(陶芸)  
第9回(平成8年5月) 岩倉 寿(日本画) 木村光佑(版画) 富樫 実(彫刻)  
第10回(平成9年5月) 下保 昭(日本画) 齋藤眞成(洋画) ※西嶋武司(染色)  
第11回(平成10年5月) ※芝田 耕(洋画) ※山田 光(陶芸) 澁谷和子(染色)  
第12回(平成11年5月) 小嶋悠司(日本画) 林 康夫(陶芸) 服部峻昇(漆芸)  
第13回(平成12年5月) ※堂本元次(日本画) 井上隆雄(写真) ※江里佐代子(截金)  
第14回(平成13年5月) ※渡辺恂三(洋画) 木代喜司(彫刻) 福本繁樹(染色)  
第15回(平成14年5月) ※岩本和夫(日本画) 小林陸一郎(彫刻) ※栗木達介(陶芸)  
第16回(平成15年5月) 森本 勇(洋画) 竹内三雄(彫刻) 河田孝郎(染色)  
第17回(平成16年6月) 加藤明子(洋画) ※木田安彦(版画) 林 秀行(陶芸)  
第18回(平成17年6月) 吉川 弘(日本画) 柳原睦夫(陶芸) 望月重延(漆芸)  
第19回(平成18年6月) 西野陽一(日本画) 宮瀬富之(彫刻) 上野真知子(ファイバーアート)  
第20回(平成19年6月) ※入江西一郎(日本画) 平岡靖弘(洋画) 井隼慶人(染色)  
第21回(平成20年6月) 木村秀樹(版画) 秋山 陽(陶芸) 松本ヒデオ(陶芸)  
第22回(平成21年6月) 三橋 遵(染色) 八木 明(陶芸) 甲斐扶佐義(写真)  
第23回(平成22年6月) 西久松吉雄(日本画) 野村 仁(マルチメディアアート) 田島征彦(染色)  
第24回(平成23年6月) 山本容子(版画) 小林尚美(ファイバーアート) 森村泰昌(現代美術)  
第25回(平成24年5月) 川村悦子(洋画) 福本潮子(染色) 伊部京子(ファイバーアート)  
第26回(平成25年5月) 麻田脩二(染色) 清水六兵衛(陶芸) 川瀬敏郎(花人)  
第27回(平成26年5月) 畠中光享(日本画) 西野康造(彫刻) 生田丹代子(ガラス造形)  
第28回(平成27年5月) 浅野 均(日本画) 今村 源(彫刻) 久保田繁雄(ファイバーアート)  
第29回(平成28年5月) 森田りえ子(日本画) 松井利夫(陶芸) ヤノベケンジ(現代美術)

※は故人

絵画 33名(日本画17名 洋画10名 版画6名)  
彫刻 12名  
工芸 32名(染色11名 陶芸15名 漆芸3名 截金1名 人形1名 ガラス造形1名)  
その他 10名(写真2名 ファイバーアート4名 マルチメディアアート1名  
現代美術2名 花人1名)  
計 87名